

文章をわかりやすくし、さらに文章としてのまとまりを持たせるために、書き手はふつう、文法的な規則のほかに、全体的な話の流れを意識しながら文章を書き進めます。話の進め方には、ある程度典型的なパターンがあります。

◆ 代表的な話の進め方は次のようなものです。

1. **説明** → **詳しい説明(言い換え/例/具体的なデータ)**

例・動物は水がなければ生きられません。1日でも水を飲まないでいると、とてもつらく感じるはずです。(説明→例)
 ・今や携帯電話は若者にとって必需品である。ある調査によると大学生の99%が携帯電話を持っているという。(説明→具体的なデータ)

2. **説明** → **理由**

例・今日はどうしても学校を休むわけにはいかない。大事な試験があるからだ。
 ・一部の恐竜には鳥のように羽毛が生えていた。体温を保つ役割をしていたのだ。
 (理由を表す表現としては「～のだ」「～ため(だ)」「～から(だ)」などがよく使われる。)

3. **問題提起(自己疑問)** → **答え(主張)**

例・どうして海の色は青いのでしょうか。実は、青色の光線が水中で広がるのに対し、赤色などは海水に吸収されてしまうのです。
 ・切り花を長持ちさせるにはどうすればいいのだろうか。花が枯れる原因は、花瓶の水の中ばい菌が発生するためである。水を換え、殺菌効果の高い物質を水に入れるなどしてこのばい菌の発生を遅らせれば、花も長持ちするのである。

4. **一般論/事実** → **主張**

例・この病気の原因は食生活の乱れだと考えられがちだ。しかし、実はストレスも大きな要因である。
 ・品質が良ければ売上げが伸びるはずだ。にもかかわらず、これが必ずしも真実とは言えない例も多い。
 (一般論の後には、「～が」「しかし」などに続けて、「実は」「実際には」などの表現を使って主張が述べられることが多い。)



5. **他の意見を一応認める** → **反論・主張**

例・もちろん地球温暖化の防止は科学的な解決が求められる問題です。しかし現実にはそれとともに政治的、経済的な取り組みが欠かせません。
 ・子供には優しく話すべきだと言われる。確かに一理はある。だが、わたしは相手が子供であろうと、悪いことをしたら遠慮なく厳しく言うことにしている。
 (一応認める表現としては、「確かに」「もちろん」などがよく使われる。)

6. **その他(組み合わせ)**

例 **他の意見** → **詳しい説明** → **反論(事実→主張)**

例・禁煙できないならば節煙してはどうかと考える人がいる。本数を少なくすればたくさん吸うよりも健康への害が少ないと考えるのである。しかし、あるクリニックの研究によると、一日に40本吸う人が10本に減らしても、健康面では大きな改善は見られなかった。やはりきっぱりとやめなければならないのである。

練習1 どちらか適当な方を選びなさい。

- 1 酒は薬にもなれば毒にもなる。(a 飲み方を間違っ**て**はいけない b 飲ん**で**はいけない)ということだ。
- 2 他人の感情や痛みを自分のこととして実感するのは容易ではない。(a 自分の家族ですら b 学校の先生ですら)何を考**え**ているのか完全**に**理解することはできない。
- 3 疲れたからといってここでやめるわけにはい**か**ない。(a 締め切**り**は明日**な**のだ b やめたい**の**だ)。
- 4 おうむや九官鳥などの鳥は人間の言葉を話**す**ことがありますが、なぜ**で**しょうか。鳥は生まれ**た**後、親鳥の鳴き声**を**まねながら鳴き方**を**覚**え**るもの**な**ので、人間に飼**わ**れている鳥**は**どの鳥**で**も人間のまね**を**します。中**で**もまねの上手な鳥**が**(a 話し方**を**まね**て**います b おうむ**た**ち**だ**というわけ**で**す)。
- 5 人生の壁**に**ぶつかり、その**た**めに自分**を**変**え**ていく**の**は、と**て**も苦**し**い作**業**である。し**か**し**一**方**で**それ**は**、(a 壁**を**乗**り**越**え**ら**れ**るのである b 世界**を**広**げ**る**た**めの重要**な**機**会**である)。

練習2 適当なものを選びなさい。

- 1 楽器、外国語、運動……どれも練習しなければ上手にならない。では、練習すればした分だけ必ず上手になると言えるだろうか。()。上手になるようによく考えられた練習をする必要がある。
- a 確かにそう言える b 残念だがそうは言えない
c 実はその反対である d やはりそのようである
- 2 異常気象はもはや国内だけの問題としてとらえてはいけない。()。近年、世界のあちこちで自然災害が起こっているのも異常気象によるものであろう。
- a 世界的な問題である b 今年の夏も猛暑だった
c 環境を守るのだ d 自然災害も問題である
- 3 わが社の全店での年間利用客数は約1億人である。すべてのお客様が1円多く使えば、年間利益は1億円上がる。そう考えるときに忘れてはならないのは、()ということだ。そこに経営の厳しきがあるとも言える。
- a 1円というお金には大きな価値がない
b 1円というお金でも大きな価値を生み出す
c 1円使う額を減らせば1億円の損失になる
d 1億円は個人にとってはとてつもなく大きい
- 4 インターネットや携帯電話は確かに便利だ。こうしたメディアの発達により、これまでなかなか得ることのできなかった多くの情報が得られるようになった。しかし、それに時間を割くことによって、体験しなければ得られない、においや感触などの情報や経験といったものは()とも言えよう。
- a 必要なくなっているのだ b 得る機会が減っているのだ
c 重要度を増しているのだ d 手軽に得られるようになったのだ



まとめ 次の文章を読んで、文章全体の趣旨を踏まえて、1 から 5 の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

日本のサラリーマンが会社に忠誠心を示すのは、そうやって振る舞うことが日本の社会において最も適応した行動であるからに他ならない——1、会社に対して忠誠心を示したほうが何かとトクをするから、そうしているだけにすぎない。だから、日本人は会社人間になったというわけです。

戦後長らく続いた終身雇用制度の下では、日本のサラリーマンはアメリカ人のように転職によってキャリアアップすることが事実上、不可能だったので、出世しようとするのであれば、自分が今現在、属している会社での評価を上げることしかありませんでした。

2、いつまでも会社から帰らずに残業していたほうが、会社にアピールできるというものだし、休日返上で働いたほうが上司の評価も高くなるというものです。だからこそ、日本のサラリーマンたちは3を選択した——こう考えるのが、最も現実的な解釈だと言えるでしょう。

江戸時代の武士たちが滅私奉公であったというのも、4。「転職」がいくらでもできた戦国時代とは違って、江戸時代では主君を替えるわけにはいきません。子どもや孫の代までも同じ殿様に仕えることになるのですから、常日頃から忠義ぶりを示していたほうが得策だった。5、江戸時代の武士たちはお家大事、殿様大事で働いていたというわけです。

(山岸俊男『日本の「安心」はなぜ、消えたのか』集英社インターナショナルによる)

- 1 1 分かりやすく言うならば 2 一例をあげれば
3 逆の見方をすれば 4 確かにそう言えるのだが
- 2 1 言い換えれば 2 そのためには
3 なぜかというと 4 そのようなわけで
- 3 1 残業をやめること 2 キャリアアップをすること
3 会社人間であること 4 転職を考えること
- 4 1 実は別の理由があります 2 結局は同じ理由です
3 事実なのです 4 事実とは言えないのです
- 5 1 つまり 2 なぜなら 3 確かに 4 だからこそ